

家庭特定資源「み収集」について

(株)アールイー新日本による収集が年2回実施されますが、(次回は十月三十日(土))業者が求めていの注意書きが守られていないため、収集されずに残されるケースが散見されます。

特に自転車については【アリの取扱】と書いたメモが貼付されていないと引き取ってくれません。

先に各家庭に配布した(株)アールイー新日本発行の【家庭有価資源収集の案内】の内容をよく読んで遗漏のないようにお願ひします。

阿戸学区献血推進協力会の報告

今年度も去る六月二十九日(月)に、各団体の運営委員の皆様の協力により献血を実施し、平日にむ拘らずハ十五名もの多くの皆様に、献血していただきました。

地域の方々はより、企業の方々もお仕事中にも拘らずたくさんご参加ください、ほぼ昨年同様の成果を上げる事ができました。

この貴重な血液は、病気や怪我をされた方々の命を救ふことに生かされます。

お忙しい中ご協力くださいました皆様、本当に有難うございました。



その主な収入源は、皆さん方からいただいたりいる会費(各世帯六百円)約四十四万円、区社協からの補助金(財源は共同募金)約三十万円、一年に一度のチャリティーバザー約十五万円、そして皆さんからの尊い寄付によるものです。

支出の主なものは、敬老会関係約二十六万円、高齢者、障害者など交流会関係約十五万円、ふれあい配食関係約十六万円、福祉教育推進関係約十五万円、コムニティ活動費約二十一万円、広報費約二十万円、ボランティア育成関係約十万円、事務費関係など約六十万円、以上が主な支出であります。

暮りしやすいあつたかな地域づくりには、皆さん

よいしくお願いします。

各種団体の紹介 ①

※ 阿戸地区社会福祉協議会

阿戸地区社会福祉協議会では、皆さん方の支えをいただきながら、だれもが暮らしやすいあつたかな地域になることを目指し、いろいろな活動を行っています。

なかでも、ふれあい活動に大きな力を注いでいます。

事業をするに当たっては予算を伴います。その予算について少しふれてみたいと思います。年間の総予算は約一百万円です。

会費(各世帯六百円)約四十四万円、区社協からの補助金(財源は共同募金)約三十万円、一年に一度のチャリティーバザー約十五万円、そして皆さんからの尊い寄付によるものです。

★事業予定★

◎二〇〇九年十一月二十八日(土)あーじゅく
ージックフェスタ 一〇〇・九
◎二〇一〇年三月十四日(日)第三十三回阿戸町ウォーカーリーダ大会

皆様の参加をお待ちしています。

この協議会は、地域ぐるみで青少年の健全な育成を図る事を目的としています。

広島市や安芸区内での連絡調整、情報交換、啓発活動のほか、阿戸地区での特徴的な活動として、子供会球技大会の後援、児童館サマーランドの共催、ウォークラリー大会共催、あーじゅく・ジックフェスタ主催等、地域住民の交流活動も積極的に推進しています。

また、小、中学校PTAと連携して、「一〇〇番の家」の設置、月一回の町内パトロールも行っています。

協議会構成委員会
社協・民協・連合町内会・女性会・小中学校・小中PTA・体協・子ども会・公民館・児童館・母親クラブの各団体長、及び保護司、少年補導協助員、青少年指導員。

※ 阿戸地区青年健全育成連絡協議会

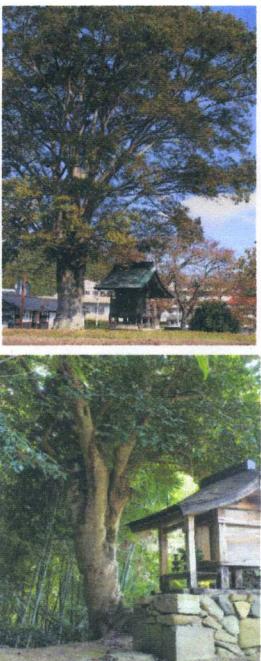
町内の名所旧跡シリーズ ①

平成二十二年度の行事報告及び予定

第一回町内会 熊野町と阿戸町との境付近には、樹齢三百年以上にもなる樺の巨木が聳え立つ・熊野町から阿戸町、東広島方面に旅をする人達の目印にもなっていたそうです。

側には荒神社があり、お盆には町内の皆さんが集まって恒例の盆踊りが開催されます。

また、天地家には樹齢は不明ですが、地上から一七メートルの位置の胴回りが一メートルにもなる樺の巨木があり、その近くには菅原道真にゆかりのあると伝えられる天神社が保存されています。



樺と荒神社
樺と天神社



「四こま漫画」について
人情味の豊かな、阿戸町をイメージしています。
これは2区の藤岡由紀美さんの作品です。

- ★ 第六十回記念町内駅伝大会 平成二十二年
一月一日（金）予定
- ★ 阿戸町民まつり 十一月十五日（日）予定
- ★ 区民まつり 安芸区役所及び安芸区民文化センター
十一月二十九日（日）予定
- ★ クリーンキャンペーン（町内一斎清掃）
三月七日（日）予定

阿戸町内
阿戸小学校グラウンド
阿戸福祉センター

編集後記

七月下旬に九州北部と中国地方に居座った梅雨前線は、大雨を降り續かせ、各地に記録的な降水量をもたらしました。山口県や広島県では土石流による甚大な被害も発生し、多数の死者が出たことは皆様の記憶に新しいところでしょう。わが阿戸町内でも、人的被害こそありませんでしたが、あちこちで土砂崩れや河岸の崩落等が発生しました。

現在関係先に早期復旧を働きかけています。

もうしばらくお待ちください。

「元気な阿戸町だより」第一号をお届けします。小紙が阿戸町連合町内会の活動を理解していただくための一助となれば幸いです。

（編集委員長 宇野耕次）

「元気な阿戸町だより」の表題について

町民のみなさんの元気な活動を伝えるため、文字を動きのある斜めにし、影をつけて「あったかい阿戸町」のハートで全体をまとめました。

シンボルマークは

阿戸町連合町内会（1区～6区）の連携と協調をイメージしており、これらは横山みどりさんの作品です。

